

## 第8回日本ペルー経済協議会 概要報告

1. 開催期日： 2009年2月25日（水）13時30分～19時30分
2. 開催場所： ジェトロ5階 ABC会議室
3. 出席者： 総勢90名（日本側）宮村眞平委員長〔三井金属鉱業(株)取締役相談役〕はじめ56名、（ペルー側）ラファエル・アロセメナ副委員長〔INTRADEVCO代表取締役〕はじめ34名



会場の様子

### 4. 総括的概要：

第8回日本ペルー経済協議会は、「ペルー展(主催：ジェトロ他)」の開催に合わせて、前回に引き続き東京で開催した。ペルー側からガルシア・ベラウンデ外務大臣、アラオス通商・観光大臣、日本側から松村経済産業大臣政務官等の政府高官を迎え、日本ペルー経済連携協定(EPA)の重要性を中心に討議した。昨年11月の投資協定締結に続き、両国委員会は一日も早いEPA締結を両国政府に要請していくことを確認した。



宮村委員長

アライ副委員長

### 5. セッション別会議概要

#### (1) 開会式

宮村委員長の開会挨拶に続き、ペルー側はラファエル・アロセメナ副委員長から急遽来日中止となったルイス・ベガ委員長の開会挨拶が代読された。また、麻生内閣総理大臣祝辞を佐藤悟氏〔外務省中南米局長〕が代読し、ガルシア大統領祝辞の代理としてガルシア・ベラウンデ外務大臣と松村祥史氏〔経済産業大臣政務官〕からご祝辞をいただいた。



ガルシア・ベラウンデ大臣

アラオス大臣

#### (2) 基調講演「新たな日本・ペルー経済関係強化」

基調スピーチとして、メルセデス・アラオス通商・観光大臣は、両国の更なる経済関係の強化のためには昨年11月の日本ペルー投資協定締結に続き、日本ペルーEPA締結が必要であり、両国委員会の支援が肝要であると述べた。

#### (3) 第1回全体会議「世界金融危機が日本、ペルーに与える影響」

日本側の林康夫氏〔日本貿易振興機構(JETRO)理事長〕は、景気回復に向けて、海外ビジネス支援に積極的に取り組むと述べ、ペルー側からハイメ・カセレス氏〔ペルー全国私企業連合(CONFIEP)会長〕のスピーチをアロセメナ副委員長が代読した。現下の世界的な景気後退の中で、ペルー経済はその多様性により比較的に影響が少ないと強調した。

#### (4) 第2回全体会議(パネルディスカッション)「日本ペルー経済連携協定(EPA)締結に向けて」

浦田秀次郎氏〔早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授〕がモデレータを務めた。日本側パネリストを加藤英二氏〔パンパシフィック・カッパー(株)代表取締役社長〕、高瀬芳典氏〔ペルー三井物産(株)会長兼社長、日秘商工会議所会頭〕の2名、ペルー側パネリストをパブロ・カスティージョ氏〔Fundo Key S.A.C.代表〕、テレサ・イチカワ氏〔Calimod - Juan Leng Delgado S.A.C.代表〕の2名が務めた。ディスカッションでは、日本ペルーEPAは一部業界に影響を受ける可能性が指摘されたが、両国のビジネス拡大に貢献することなどが活発に議論された。フロアからもEPA締結の効果に対する質疑が寄せられ、関心と期待の高さが窺えた。



パネルディスカッションの様子

### 6. その他

会議終了後に日本側主催レセプションが開催された。ガルシア・ベラウンデ外務大臣、アラオス通商・観光大臣が臨席し、また、ペルー展出展者も招待され、盛会であった。